

福生市町会長協議会 会報

ちいき

《発行》 福生市町会長協議会 会長 溝瀆幸太郎

地域のコミュニケーションを深めよう

町会・自治会の加入促進運動 を行ないました

平成20年度、福生市町会長協議会では、「東京都地域の底力再生事業助成」を受け、市内の町会・自治会を通じて、市民の皆さんが生き生きとしたコミュニケーションが図れるように、加入促進運動を行いました。

10月26日に開催された「福生ふれあいフェスティバル」で、町会長協議会ブースを設置し、町会・自治会エコバッグの配布や、あいさつ凧づくりを行い、町会・自治会の活動紹介やあいさつによるコミュニケーションの大切さを伝えました。



横断幕による呼びかけ



戸別訪問前の打ち合わせ



ふれあいフェスティバルでエコバッグ配布

←エコバッグ

また、11月には、「加入促進運動強化月間」として、あいさつ運動や見守り活動の中で、加入の呼びかけを行ったり、また戸別に訪問するなど、各町会・自治会において、町会等に対する理解促進を図りました。

町会・自治会に 加入しましょう

ご近所で

手を取りあつて

助け合い

みなさんは、町会・自治会に加入していますか？

町会・自治会は、自主的な団体で、より住みよい豊かな地域づくりを目指して活動しています。

そのためには、地域に住む人たちがコミュニケーションを深め、互いに支え合い、気軽に協力できる関係を育むことが大切です。そうすることによって、災害など、いざというときに、地域の力を発揮することができるようでなく、見守りが必要な高齢者の発見や子どもの見守りなど、地域の事件や事故を未然に防ぐことにもつながります。

◆どうやって加入するの？

加入される方は、各町会長・自治会長までご連絡ください。連絡先については、福生市役所協働推進課（551・1590）へお問合せください。

町会・自治会の活動

現在市内には、34の町会・自治会があり、皆さんからの町会・自治会会費や、市からの補助金をもとにして、互いに支えあいながら、にぎわい、うるおいをもたらす、さまざまな活動をしています。

支えあい

- ・地域の安全安心を守る活動
- ・子どもたちの健全育成に取り組む活動
- ・まちを美しくする活動

にぎわい

- ・夏祭り、盆踊り、もちつき大会、その他町会・自治会独自のイベントの主催

うるおい

- ・地域住民の健康づくりを進める活動
- ・福祉に関する活動

わたしたちの 町会・自治会

今年で13年目

南田園二丁目町会 瀬尾芳弘

当町会は全34町会の中で最後に誕生した町会で、今年で13年目となります。よちよち歩きの時代は過ぎ去ったものの、まだまだ未熟な若輩者の町会であり、ご多分に漏れず、役員のなり手が非常に少ない、あるいは町会加入率が低いといった深刻な問題を抱えている町会でもあります。

活動内容ですが、当町会では、春・秋の花苗植栽、春・秋の交通安全運動参加、町内夏祭り、親睦を兼ねた防災バス研修旅行、四地区合同水・防災訓練、秋の芋煮会、新年会&

餅つき大会、年6回の資源回収、福祉活動、町内清掃といった活動を主に行っています。

また、南田園二丁目には福祉センターがあり、町会専用の会館がないこともあって、この福祉センターを各種会議・行事の場所として、あるいは事務機器の使用等、町会活動の拠点として大いに活用させていただいております。

さて、トピックス的な話題として2つほど、お話させていただきます。1つは町会倉庫の件です。当初、コンテナ2つを倉庫として使用していましたが、老朽化したため、新しい倉庫が必要となりました。ようやく昨年春に新しい倉庫を購入するこ



新春駅伝大会

とができました。

新しい倉庫はそれまでのコンテナ倉庫に比べ、収納スペースが広く、快適に使用することができ、とても満足しています。

もう1つは福生市民新春駅伝大会の件です。当町会は4年ほど前から町会・自治会の部に参加するようにになりました。結果は4回とも優勝することができたのですが、特に今年が町会・自治会の部に3チームの参加があり、熾烈な優勝争いが展開され、非常に興奮した大会でした。来年もメンバーが揃い参加できるか？そして優勝できるか？今から楽しみにしています。まだ参加経験のない町会・自治会の皆様方、ぜひこの大会に参加し、大会をさらに盛り上げてみませんか。

わたしたちの町会

南田園三丁目町会 上野昌平

当町会は区画整理事業竣工後急速に開けた地域です。過去の田園風景からは想像もつかないほど、様変わりをした昭和57年8月29日に初代会長松尾四郎氏を中心に多数の方々努力によ

りまして「南田園三丁目町会」は発足しました。

西にゆったりと流れる多摩川、広々とした中央公園、東は清流に舞うほたる公園と非常に自然に恵まれた中で日々生活をさせていただいております。

町会加入世帯数（平成20年度当初）は188世帯でしたが、行政等の協力を受けて、啓発活動を推進し、現在は若干でありますが、3世帯増となりました。今後も町会活性化のために加入促進活動を進めてまいります。

地域推進委員の方々は、多数おります。それぞれの委員さんには責任を持って活動していただいております。特に地域内に小学校・中学校がありますので学校等の連携を密に活躍していただいております。また、小地域福祉活動を行なっている「ホタル会」、「グループ田園」と二つの団体があります。この団体の方々にも地域の特色を活かして、しっかりと市内、町会内のために活動をしていただいております。

年中行事として、1月は青少協・

町会等で餅つきをして新しい年が始動します。桜まつり、ほたる祭、夏まつり、秋には町内大運動会、町会親睦旅行。また、会員の皆様の防災意識が高く、年1回行われます近隣の四町会合同の水・防災訓練にも参加しております。

資源の回収は、青少協を中心にして町会会員の協力の下、毎月行っております。町会のモットーである安心安全なまちづくりに向けて役員、会員全員で活動しております。



四町会合同 水・防災訓練

顔の見える町会を目指して

本町第二町会

川村 寛

本町第二町会は、福生市役所

の北東地域に隣接する、会員数75世帯の福生で一番小さな町会です。

特徴は、会員同士の仲間意識が強く、各行事に対しても、積極的に参加・協力する、古き良き時代である昭和の匂いがある町会です。いつ、どここの場所でも、出会いがあれば、挨拶を交わし、お互いの健康状態や生活近況を話し合う光景が見られ、安全・安心のまちづくりの基本を、実践・実感できる町会です。この自然体の生活行動が、防犯・防災に結び付いていると考えています。毎回の行事は、皆の協力によりいつも大変盛況です。しかし、活気のある町会でも、最近では、一人暮らしのお年寄りが増えたり、御夫婦の高齢化が進み、外出等の機会が少なくなり、少しずつ元気な姿を拝見する回数が減ってきています。また、次の世代を担う子供たちが少なくなり、まちの活気が少しずつなくなっていることが、気になります。これらは、今後大きな問題となってくるでしょう。

本町第二町会は、会員相互の交流をさらに深め、いろいろな

角度から創意工夫をして、「顔の見える町会・顔のわかる町会」を目指していきたいと思っております。



夏まつりにて

家族的な雰囲気の中で
本町第三町会 細谷良暉

本町第三町会は、青梅線福生駅の西口に近く、日常生活には何かと便利なところに位置しています。その面積は、横幅わずか60メートルで、町会内には店舗や共同住宅が多く、そのため町会の加入世帯数は、他の町会・自治会に比べ少なくなっています。駅前という事情などから、有料駐車場が増えてきました。また、少子高齢化が課題となっております。

まさに我が国の縮図そのものと言えます。現在は、戸建て住宅の会員33戸、集合住宅4棟、店舗の会員の構成です。小さな町会ながらも、毎年、カラオケの集い、町会内清掃、夏祭り、盆踊り、防災訓練・防災研修会、ボウリング大会等、さまざまな活動を行い、会員同士の親睦を図っています。少人数のため、家族的な雰囲気の中でできることが、私たちの町会の最大のメリットです。誰が参加したかというよりも、今回は誰が来られなかった、という感覚で、会員同士協力して取り組んでいます。小学校のPTAは、二昔前より3つの町会が行動をとるに、高齢者の方は、現在、3町会合同による「サポーターいち・にい・さん」で活動しています。

町会長協議会では、町会の加入率を上げる運動を展開中です。昔は、「向こう三軒両隣」と言っていました。私たちの町会でも存続困難になっていることもあり、会員の方々には、ふるって行動をお願いしているところです。会員のみならず、どんどん参加してください。



町会内清掃

第6号内容に誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。
・3ページ町会区域図 熊川駅の右下の町会名 (誤) 鍋ヶ谷第二町会 ↓ (正) 鍋ヶ谷第一町会
・5ページ1段10行目 (誤) 5階建て8棟 ↓ (正) 5階建て11棟

広告掲載スペース

地域づくり講演会
「パワーアップ!地域コミュニティー」レポート

2月14日、福生市主催で地域づくり講演会「パワーアップ!地域コミュニティー」が開催されました。

講師は、コミュニティー論を専門とされ、ご自身もまちづくり活動を実践されている名和田是彦さん(法政大学教授)でした。講演では、「近年、町会・自治会は、地域を支える存在として見直されてきている一方、加入率低下や会員の高齢化、役員のみならず、課題はさまざまです。こうした現状の中、町会を中心に、民生委員やPTAなど地域の団体と横の連携を良くする新しい組織を作るしくみ、誰も立ち寄れる交流拠点を作り、地域のつながりを次第に広めていく仕組みづくりなどが行われています。」と、町会・自治会のこれからを考える上で参考となる、さまざまな具体例が紹介されました。

平成21年3月

編集委員長 森井常貴
編集委員 持田 洸

千葉 進 田中 守
井上賢司